

湾曲してつく苞の姿はユニーク、海老のよう

< 植物名 >

ジャスティシア
コエピソウ(ペロペロネ・グッタータ)

水やり

用土がよく乾いてから水やりをする。冬場は少し乾かし気味に管理。

置き場所

春～初秋は室内外の日当たりの良い場所、秋～冬は室内の日当たりの良い場所に置く。

用土肥料

水はけ良く、腐植質に富んだ土を好む。肥料はできるだけ控えめに。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

冬は室内の日当たりの良い場所に置く。

使い方 鉢植え

学名 *Justicia brandegeana*

英名

属名 キツネノマゴ

科名 キツネノマゴ

性状(分類) 常緑低木

原産地 メキシコ

花の色 赤褐色など(苞)

開花期 初夏、温室の場合は周年

購入時期

草丈 100 cm

ID 34

季節 夏

JFコード 14405



冬越しと置き場所

日当たりを好み、寒さに弱いので、鉢植えにして温室で育てることが多い植物。春～初秋は室内の日当たりの良い場所、秋～冬は室内の日当たりの良い場所に置く。クーラーなどの風によって水落ちしやすいので気をつける。

その他の解説

水はけが良く、腐植質に富んだ土を好む。肥料はできるだけ控えめに。

特徴1

最近はいろいろな品種が作られている。用土がよく乾いてから水遣りをする。冬場は少し乾かし気味に管理。

特徴2

コエピソウの名は、うろこ状に重なって湾曲してつく苞の姿が、海老の背中から尾にかけての形状に似ていることに因んでいる。在来種は、若いうちは苞が淡緑色、成熟すると赤褐色に色づくが、最近は斑入りの品種や黄色の苞を持つ品種も登場している。葉は卵形で対生する。乾燥には比較的強い方。